

コース開示で千客万来

木村佳司

長野県スポーツ天国オリエンテーリング体験 2008年7月5日 長野県松本市

店頭メニューと価格表示が無いレストランはちょっと敬遠してしまう。そんな経験あるよね。

2008年7月5日 長野県松本市
長野県スポーツ天国



「長野県スポーツ天国」は小学生2000名を集める陸上スポーツイベント。屋台も並ぶ大規模行事。ここにオリエンテーリングブースを出展。

コース地図を受付前に開示

たくさんの親子連れがテント前の看板を見てゆく。そこにはオリエンテーリングのコース地図が掲載してあった。「どのくらいの時間で回れますか?」「20分くらいです。」「ちょうどいいくらいね。じゃ、やってみるわよ。」
用意した80枚の地図は午前中で完了した。わずか2名での運営とあって、初心者説明だけで手一杯。千客万来。なぜ?

オリエンテーリング体験ブースの前に掲示されたコース地図。この地図を見て「面白そう」「できそうかな」と思った親子や子供グループが次々とコースに挑戦した。

軽い気持ちで経験するオリエンテーリングは、まずコースが判っていることが参加する気持ちを後押しする。

考えてみれば当たり前のこと。私た

ちだってメニューと料金が店頭に表示されていないレストランに入る勇気はない。お客は「これからどんなサービスが受けられるのか」が判らなければ最初の一步を踏み出さない。

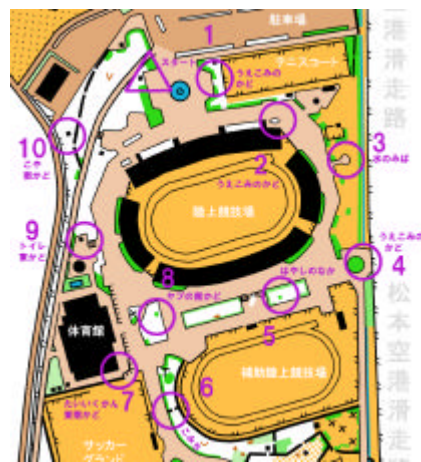


地図を配って小学生のグループにコースの説明。細かい事は教えずに、まずは1番の方向だけ教える。

コースを事前に知らされないほうが良いと考えているのは、競技者と運営者の間で一定の信頼関係ができあがっているオリエンテーリング競技会での話。オリエンテーリング体験会では参加者もオリエンテーリングってどんなものかも判っていない。コースは事前に公開し、納得してコースに足を運んでいただくほうが遥かに効果的だ。



1周1200m程度のフリーポイントO。フラッグを見つければ足が勝手に走り出す。



陸上競技場の回りの判り易いコントロール位置。コントロール位置説明も地図上に直接書き込んである。

人の集まる場所に出展する

長野県スポーツ天国は小学生2000人を集める陸上競技イベント。30リレー(100m×30名=3000m)のようなクラス対抗戦が行われ、参加者は全県エリアから集まってきている。

このリレーの出場待ちや競技が終わった子供たちのアトラクションの一つとしてオリエンテーリングもブースを出展した。

自前で子供たちを集めてオリエンテーリングイベントを行う事はとても労力が必要である。

今回のように人数が集まるスポーツイベントにオリエンテーリングブースを出展するという形であれば、少ない労力で多くの人にオリエンテーリングを体験してもらうことができる。

こうした取り組みを通じて地域の中でオリエンテーリングの魅力を伝えたい。来年も「スポーツ天国」は開催される。定例行事として定着をはかってゆきたい。

(木村佳司)